

関西福祉大学

# 校友会会報

Kansai University of Social Welfare

関西福祉大学校友会

平成19年5月15日

平成18年10月28日に

校友会館が竣工しました。

関連記事  
→P.2

校友会館外観



## CONTENTS もくじ

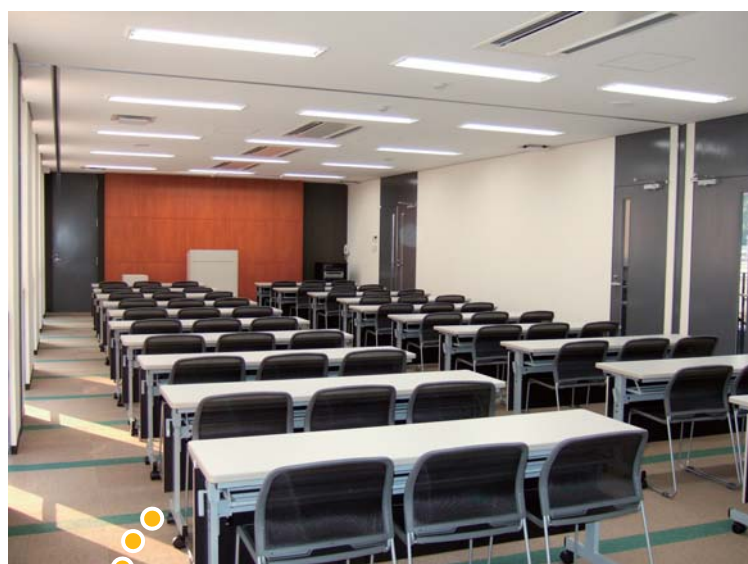
|              | ページ   |
|--------------|-------|
| 校友会館紹介       | 2     |
| 校友会館使用規程     | 3     |
| 大学時代の思い出 7期生 | 4     |
| 部・サークル紹介     | 5     |
| 校友会ニュース      | 6・7   |
| 平成19年度役員紹介   | 8     |
| 校友ネットワーク     | 9     |
| 投稿「私と仕事」     | 10・11 |
| キャンパスニュース    | 12    |

# 校友会館紹介

理事会・幹事会および事業計画プロジェクトにおいて、卒業生の拠点創りのため平成16年6月より校友会館建設の議論を重ねて参りました。この計画もいよいよ形となり、汐風祭初日の平成18年10月28日に地域センター東側に校友会館が竣工しました。

鉄骨2階建ての会館の1階は、校友会の事務室、喫茶ライム、2階には収容人数84名の校友会館ホール、和室2室を備えています。

校友会館ホールや和室の利用についてのお申し込みは、校友会事務局までご連絡ください。会員の皆様のご利用をお待ちしております。



## 関西福祉大学校友会 校友会館使用規程

(趣旨)

第1条 この規程は、関西福祉大学校友会（以下「本会」という。）校友会館（以下「会館」という。）の使用について、必要な事項を定める。

(業務)

第2条 会館の使用等に関する業務は、校友会事務局（以下「事務局」という。）が行う。

(使用資格)

第3条 使用者は、原則として本会会員（正会員：卒業生、準会員：在学生、特別会員：大学教職員、賛助会員）及び大学とする。

2 会館1階の喫食スペースは、一般にも開放し、喫食することができる。

3 その他会長が必要と認めた者。

(使用目的)

第4条 会館は、本会行事等に使用する。

2 本会行事等に支障のない範囲で、研修、会員相互の親睦および交流、その他特に認められた行事に使用することができる。

(使用日時)

第5条 会館を使用できる日は、12月28日から翌年1月5日までの間と夏期休暇中の一斉休業日を除く日とし、その使用できる時間は次のとおりとする。

(1) 月曜日から金曜日（ただし、国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く。）までは、9時から18時までとする。

(2) 休日（日曜日、土曜日、創立記念日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日）の使用については、原則として9時から17時までとする。

2 会長は、必要があると認めるときは、前項の規定に関わらず、同項に規定する使用できる日及び時間を変更することができる。

(使用手続き)

第6条 会館を使用しようとするときは、使用しようとする日の3日前（休日となる日があるときは、その日を除く。）までに、別記様式、校友会館使用願（以下、「使用願」という。）を事務局に提出し、承認を得なければならない。ただし、緊急に本会の行事等で使用の必要が生じた場合は、これを最優先させることとする。

(変更の届出等)

第7条 会館の使用の承認を得た者が、使用の目的を変更（使用の中止を含む）しようとするときは、速やかに事務局に届出なければならない。

(使用承認の取り消し等)

第8条 会館の使用の届出をした者が、次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、使用承認の取り消し、使用の中止することができる。

(1) 使用願に虚偽の記載があったとき、または虚偽の届出によって会館を使用しようとしたとき。

(2) 会館の使用の承認を得た者が第7条の規定に違反して使用したとき。

(3) 会館設備品等の使用に際し、適正かつ適切な使用を怠ったとき。

(4) 本会の行事等のため、緊急に使用する必要が生じたとき。

(5) 会館の整備、補修等を緊急に行う必要が生じたとき。

(使用料金)

第9条 会館使用を承認したときは、本学施設貸与規程第5条に準拠する使用料を徴収する。ただし、特別に必要と認めた場合は、使用料を減額することができる。

2 一度納入した使用料は返還しない。ただし、第3条第3項に該当する場合はこの限りではない。

(損害賠償等)

第10条 故意または過失により屋内施設または備品を汚損、損傷または滅失させた者は、速やかにその状況を届出るとともに、原状回復に必要な費用を弁償しなければならない。

(外部委託)

第11条 会館施設の管理運営の一部を、契約により業者に委託することができる。

(細則等)

第12条 この規程に定めるもののほか、校友会館の運営等について必要な事項は別に定める。

(改定)

第13条 この規程の改定は理事会・幹事会を経て行う。

附則 この規程は、平成18年11月1日から施行する。

# 大学時代の思い出

この春卒業した第7期生みなさんに、大学時代の思い出を語っていただきました。

## 関西福祉大学手作り大学祭を通して



中島 健作 さん  
(7期生)  
セントケア株式会社  
大阪営業所

入学当初は、大学はもつとみんなバラバラで限られた友人と過ごすものだと思っていました。しかし、関西福祉大学は、みんな友達で縦や横のつながりもとても強いものでした。学生数や土地柄だけではない関西福祉大学独特の雰囲気があり、用事がなくても大学に行けば誰か友達がいるからとよく大学へ向かいました。

その友人や先輩の誘いもあり、大学祭実行委員会に入ると私の学生生活が一気に加速しました。一年次生の時は、全てが新鮮で、団結力がこんなにも大きいものなのかと驚く毎日でした。そして、二年次生になると同時に、委員会の委員長を務めさせていただけることになりました。当時、自分が委員長を務めることに「不安」というものはあまり感じませんでした。今振り返ると、それは多分一緒に頑張ることのできる多くの仲間に出会ったからだと思います。歴代の委員長のようなカリスマ性がない自分にとって、この仲間こそが自分を突き動かす原動力でした。そして、今でもたくさんの仲間に出会って過ごせることを、本当に感謝しています。

また、大学祭を通して、どのような場面においても社会や環境のせいにして何もしないのではなく、自分たちで変えて、自分たちで一つひとつ創造していく大切さを感じました。これから社会に出て、現実の厳しさを知り、自分自身を見失いかけた時でも、この気持ちは持ち続けていたいと思います。

この四年間は、いつか私が親になった時、自分の子どもにも関西福祉大学に入り、大学祭を通して多くの経験をしてもらいたいと思う宝物になりました。

## ゼミで学んだこと — 結果までの過程が大切 —



中村 ゆり さん  
(7期生)  
社会福祉法人 甲山福祉センター  
砂子療育園 児童指導員

四年間の大学生活も気が付けば卒業となり、本当に月日は早いものだと感じています。入学する時の「関西福祉大学で福祉を勉強、体験し、憧れのキャンパスライフを満喫しよう」と胸を膨らませていた頃が懐かしく思われます。

この大学で、さまざまな人との出会いや学んだことがたくさんありました。そしてゼミや実習では、福祉の現状を知る貴重な体験ができました。実習のほとんどは自分一人の力でやっていくしかないですが、ゼミは、先生や仲間と共に力を出し合い、築き上げていくという素晴らしい経験だったと感じています。

二年次生のコミュニティアワーでは、保育所で調査を行うため何度も足を運び、調査結果を基に仲間と試行錯誤しながら慎重に話し合いを進めてまとめていきました。

四年次生の卒業論文では、高校生の時から続けているボランティア活動で経験してきたことをさらに深めようと、ボランティア先でアンケート調査を行いました。始めはきちんと計画を立てられず時間がかり過ぎていき、最後までできるのか不安でしたが、ゼミの先生やボランティア先の方々の協力を得て、無事研究を終えることができました。これも先生に相談したり友人たちと励まし合い、周りのサポートがあったからこそできたのだと思います。これらを通して、結果までの過程が大切だったと実感しています。

社会に出てからは、学生の時のような甘い考えでは通用しない厳しいこともたくさんあると思いますが、今まで経験したことや学んだことに自信を持って、何事にも立ち向かって行きたいと考えています。

## 自分を成長させてくれた部活動



大西 裕人 さん  
(7期生)  
社会福祉法人 なごみ 瀬戸内ホーム  
介護職員

私は関西福祉大学に入学し、四年間剣道部に所属していました。

小学生から剣道をしています。大学四年間での部活動は私をとっても大きく成長させるものとなりました。高校までの部活動では、顧問の先生を中心に、試合に勝つためだけを目標に練習をしてきました。しかし、大学では監督の先生やコーチのもと稽古をし、部活動の運営は学生が中心となるものでした。

その中で私は、三年次生から二年間主務という仕事を任せられました。主務とは、試合の申し込み、宿泊先の手配などを行い、一見目立ちませんがとても重要な仕事です。今まで事務的な仕事の経験がなく、初めはとても戸惑いましたが、周りの力を借りながらもやり遂げることができました。私は主務という仕事をしていく中で、「任されたことに責任を持つ」大切さを、身をもって学ぶことができました。仕事をしていくときはとても大変で嫌になることもありますが、仕事をやり終えたときの達成感は大きく、今となっては、私自身大きく成長できた貴重な経験だったと思います。

春からは社会人となり福祉の現場で働く中で、これ以上に辛いことや大きな責任を持つことがあると思います。そこで、剣道で鍛えた体力や忍耐力と主務としての仕事の経験を活かし、自分の仕事に責任を持って働きたいと思っています。

そして、私を大きく成長させてくれたこの関西福祉大学剣道部や後輩達が大きく成長できるよう、何らかの形で貢献していきたいと思っています。

# 部・サークル紹介

先輩、がんばっています

## 剣道部

### 全日本女子学生剣道大会へ出場



円入 葉子さん（平成18年度主将、7期生）

私たち剣道部は、男女ともに全日本学生剣道大会に向けて練習に励んでいます。現在、部員数が少し減っていましたが、それぞれの学年が役目をしっかりと果し、協力し合いながら共に汗を流しています。

週3日の体育館練習、城南の体育館で行われている合同練習、小学校の体育館を一緒に使用させていただいての練習、また空いている日の自主練習というように、私たちがこのように多くの場で練習できるのは、顧問の先生や、赤穂の剣道連盟の先生を始め多くの方々のおかげです。合宿などでは、泊まる旅館の方やOBの先輩方、先生方のご指導もいただき、厳しい練習に耐え試合で結果を残し、女子は全日本女子学生剣道大会へ出場することができました。

全日本女子学生剣道大会という、私が2年次の時に先輩方と出場した時のことを今でもはっきりと覚えています。試合前夜に集まり、先輩から一人ひとりいただいた手紙、各自の腕に一人一言書いた決意・目標、あの時みんなの気持ちが一つになったと感じました。この一体感を感じることができたから、今回全日本女子剣道大会の出場につながったのだと思いました。

これからも、技術面だけでなく、先輩方から学んだ、みんなで一人という気持ちを忘れることなく社会人として励んでいきたいと思っています。

植木 拓哉さん（3年次生）

私たち点訳サークルは、男女合わせて26人という大人数で活動をしています。

主な活動内容は、赤穂市にある案内板・エレベーターなどの点訳や関西福祉大学内にある自動販売機の点訳をしています。大学祭では、模擬店を出しました。また、サークルのメンバーの交流を図るため、クリスマスパーティなども開催しています。

昨年は赤穂市から依頼を受け、市役所の配置図の点訳を行いました。壁面に設置されている配置図は、目の不自由な方の手が届かない部分もあるため、配置図の案内を用紙に点訳し、資料としてお渡しできるように工夫をしました。点訳量は30枚にもおよび、1枚の作成にも時間がかかりましたが、先輩方の協力や後輩の努力で仕上げることができました。市役所に持参した折には、大変喜んでいただき、私たちの活動が役に立っていることに喜びを感じました。今後さらに部員同士の結束を強め、点訳活動の幅を広げていきたいと思っています。

卒業された先輩方、定期的に点訳サークルの活動をしていますので、気軽に大学に遊びに来てください。

## 点訳サークル

### 今後はさらに活動の幅を広げて



## 校友会館竣工記念寄贈品

校友会館竣工を記念し、教育後援会よりA V機器等一式を寄贈いただきました。

プラズマテレビおよび液晶プロジェクター等は、校友会館2階の校友会館ホールに設置しています。校友会館ホールは、パーティションで2部屋に分割して使用することができ、それに対応してプラズマテレビおよび液晶プロジェクターも移動可能となっています。

寄贈いただいたA V機器等は、校友会事務局までお申し出いただければご利用できます。

### 【教育後援会寄贈品一覧】

- プラズマテレビ関係 65型プラズマテレビ  
VTR一体型DVDレコーダー
- 液晶プロジェクター関係 液晶プロジェクター  
VTR一体型DVDレコーダー  
ノートパソコン
- DVDビデオカメラ関係 DVDビデオカメラ 他付属品

社会福祉学部三村教授より、掛け軸2本と一輪差し1本をいただきました。

誠にありがとうございました。

## 校友会館竣工記念 テープカット式挙行

平成18年10月28日（土）9時より、校友会館竣工記念テープカット式が挙行されました。

はじめに、校友会荒木会長にごあいさつをいただき、続いてテープカットを行いました。

テープがカットされた瞬間には、集まった卒業生や教職員のみなさまから拍手をいただき、たくさんのお祝いのお言葉をいただきました。



（写真）左から 小比賀幹事、松村理事、荒木会長、藤田副会長、松本理事、株式会社銭高組 真木専務役員

## —開学10年・看護学部開設記念— 講演会、感謝のつどい開催

関西福祉大学は、平成18年開学10周年を迎えるとともに新しく看護学部を開設しました。関西福祉大学が進める福祉と看護の新しい出発を記念し、平成19年3月4日（日）10時より赤穂市文化会館（ハーモニーホール）大ホールで上智大学総合人間科学部教授の析本一三郎氏をお招きし「21世紀における人間育成と社会の課題」をテーマに記念講演会が開催されました。

続いて赤穂ロイヤルホテルへ会場を移し、来賓をお招きした「感謝のつどい」が16時30分より開催され、関西福祉大学の教育の充実・発展に貢献いただいた方々や赤穂市民の方々に感謝状と記念品の贈呈を行いました。

また、卒業生代表として校友会副会長の藤田正樹さんが参加し、関西福祉大学開学10年・看護学部開設記念と、これからの新たな飛躍を念じて鏡開きを行いました。



## 関西福祉大学校友会会則一部改正

特別会員について、会則の一部を次のように改正しました。

新旧対照表

| 新                                                                                                                                                                                                                 | 旧                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>第五条 本会の会員の種類及び資格は次のとおりとする。</p> <p>(三) 特別会員 本学の現旧専任教職員<br/>ただし、旧専任教職員は<br/>会費十二万円を全納した<br/>者に限る。</p> <p>(四) 賛助会員 ①本会の目的に賛同する<br/>者で、理事会が承認し<br/>た者<br/>②特別会員を除く旧専任<br/>教職員<br/>ただし、在職中に一万円以<br/>上の会費を納入したもの</p> | <p>第五条 本会の会員の種類及び資格は次のとおりとする。</p> <p>(三) 特別会員 本学の現旧専任教職員</p> <p>(四) 賛助会員 本会の目的に賛同する者<br/>で、理事会が承認した者</p>                                    |
| <p>第十八条</p> <p>二 特別会員の会費は総額十二万円とし、<br/>在職中、毎年度会費一万円を納入する。<br/>ただし、会費総額十二万円に達する前<br/>に退職した者については、第五条により<br/>賛助会員として継続することができる。</p> <p>三 賛助会員（第五条四項①）の会費は入<br/>会時に一万円を納入する。</p>                                     | <p>第十八条</p> <p>二 特別会員の会費は年会費一万円とし、<br/>在職中、毎年度総会当日までにこれを<br/>納入する。ただし、旧専任教職員は除<br/>く。</p> <p>三 賛助会員の会費は年会費一万円とし、<br/>毎年度総会当日までにこれを納入する。</p> |

### 第二章 会員

(会員)

第五条 本会の会員の種類及び資格は次のとおりとする。

- (一) 正 会 員 本学を卒業した者
- (二) 準 会 員 本学の在学学生
- (三) 特別会員 本学の現旧専任教職員  
ただし、旧専任教職員は会費十二万円を全納した者に限る。
- (四) 賛助会員 ①本会の目的に賛同する者で、理事会が承認した者  
②特別会員を除く旧専任教職員  
ただし、在職中に一万円以上の会費を納入したもの

### 第六章 会計

(会費)

- 第十八条 正会員の会費は終身会費十二万円とし、在学中、毎年三万円を納入する。
- 二 特別会員の会費は総額十二万円とし、在職中、毎年度会費一万円を納入する。ただし、会費総額十二万円に達する前に退職した者については、第五条により賛助会員として継続することができる。
- 三 賛助会員（第五条四項①）の会費は、入会時に一万円を納入する。
- 四 その他、理事会及び幹事会において臨時に会費の徴収が必要と認められた場合は、その都度必要額を徴収する。
- 五 すでに納入した会費は、還付しない。

## 平成18年度 総会報告

平成18年10月28日（土）関西福祉大学校友会館にて平成18年度校友会総会が開催され、次の議題が審議、承認されました。

- (1) 平成17年度事業報告
- (2) 平成17年度収支決算報告
- (3) 平成17年度収支決算監査報告
- (4) 平成18年度事業計画
- (5) 平成18年度収支補正予算
- (6) 個人情報保護方針・規程
- (7) 会則の一部改正
- (8) 校友会館使用規程
- (9) 校友会館設置経費
- (10) 新役員紹介及び役員改選結果報告



## 第3回 ー平成18年10月28日(土)・29日(日)ー ホームカミングデー開催

秋晴れの清々しい天気の中、汐風祭に重ねて毎年恒例となったホームカミングデーが開催されました。今年は校友会館竣工後初のホームカミングデーとなり、たくさんの卒業生のみなさんを迎えることができました。会館内にリニューアルオープンした喫茶タイムは、再会を喜ぶ笑い声でいっぱいでした。



## 校友会ホームページを更新しました

- ・「個別校友会」について掲載しました。  
個別校友会を募集しています。認定・助成申請方法を参考に申請手続きをしてください。  
不明点は校友会事務局までお問い合わせください。
- ・求人情報にリンクしています。  
卒業後も関西福祉大学SyntheUniv（旧学びの泉）の就職関連情報のみ閲覧可能です。ユーザー名とパスワードは校友会事務局までお問い合わせください。
- ・第3回ホームカミングデーの写真を掲載しました。

## ご注意ください！

関西福祉大学の卒業生を名乗り、同窓会の幹事をするために卒業生の連絡先を聞き出そうとする不審な電話があったとの卒業生から報告を受けました。これらは、校友会とは一切関係ありませんのでご注意ください。

ご不審の際は、校友会事務局までお問い合わせください。

関西福祉大学 校友会事務局

TEL 0791-46-2847 FAX 0791-46-2615

Eメール koyukai@kusw.ac.jp

平成19年度

# 役員紹介

※期生、五十音順  
(平成19年4月現在)

## 新役員



幹事（一期生）  
松 葉 史 子



理事（七期生）  
頓 宮 佑 一



幹事（七期生）  
春 名 麻 弓



幹事（七期生）  
中 島 祥 雅

## 会 長

学長  
荒 木 美智雄

## 副会長

一期生  
藤 田 正 樹  
社会福祉学部  
流 王 治 郎

## 理 事

|     |         |
|-----|---------|
| 一期生 | 森 川 加壽美 |
| 一期生 | 宮 地 勇   |
| 二期生 | 長 野 みどり |
| 二期生 | 松 本 崇   |
| 三期生 | 本 田 明 典 |
| 四期生 | 木 村 泰 延 |
| 五期生 | 藤 井 宏 昭 |

## 幹 事

|          |         |
|----------|---------|
| 六期生      | 前 島 一 恵 |
| 七期生      | 頓 宮 佑 一 |
| 社会福祉学部教授 | 今 岡 典 和 |
| 看護学部長    | 松 村 悠 子 |

|     |           |
|-----|-----------|
| 一期生 | 河 村 梢     |
| 一期生 | 澤 田 友 樹   |
| 一期生 | 高 屋 吉 宏   |
| 一期生 | 徳 田 篤     |
| 一期生 | 福 井 弥 生   |
| 一期生 | 松 葉 史 子   |
| 一期生 | 安 田 美 穂   |
| 二期生 | 梅 田 秀 喜   |
| 二期生 | 元 佐 朋 亨   |
| 二期生 | 中 塚 和 貴   |
| 二期生 | 丸 島 知 洋   |
| 二期生 | 森 本 智 香 子 |
| 三期生 | 青 木 雅 哉   |
| 三期生 | 岡 田 憲 明   |
| 三期生 | 門 脇 由 佳   |
| 三期生 | 庄 司 康 生   |
| 三期生 | 中 岡 愛 弓   |
| 四期生 | 宮 本 靖 子   |
| 四期生 | 森 脇 俊 一   |

## 会計監事

|           |           |
|-----------|-----------|
| 五期生       | 稲 室 秀 一   |
| 五期生       | 平 井 理 絵   |
| 五期生       | 増 井 奈 美 子 |
| 六期生       | 角 佛 里 英   |
| 六期生       | 林 田 哲 弥   |
| 六期生       | 森 下 篤 志   |
| 七期生       | 中 島 祥 雅   |
| 七期生       | 春 名 麻 弓   |
| 社会福祉学部教授  | 溝 端 剛     |
| 社会福祉学部准教授 | 岩 間 文 雄   |
| 看護学部講師    | 田 中 福 恵   |
| 事務局長      | 小 比 賀 恵 一 |
| キャリア開発室長  | 山 口 博 文   |
| 総務課長      | 星 野 光 也   |

## 校友会事務局

|           |           |
|-----------|-----------|
| 一期生       | 水 谷 琴 江   |
| 社会福祉学部准教授 | 大 山 摩 希 子 |
| 事務局長      | 山 口 博 文   |
| 会計課長      | 星 野 光 也   |
| 事務職員      | 前 田 亜 希   |



# 私と

参加者の方から礼状をいただき、  
仕事場の自分の机に置いて、それを励みに頑張っています。

梅川 久美子さん(1期生) 三重県立みえこどもの城  
三重県児童館連絡協議会担当



「みえこどもの城前にて 河原孝館長と」

私は関西福祉大学を卒業後、老人ホームに勤めました。その後、「もう一度、社会福祉分野を勉強したい」と思い、立命館大学大学院へ進学しました。そこでは社会人の方も多く在籍されていたので、それぞれの専門分野の現状を教えてもらい、自分の今後の進む道を考えることができました。

そして卒業後、三重県にある大型児童館「みえこどもの城」に就職しました。主な担当は、「みえこどもの城」の一事業である三重県児童館連絡協議会の事務局で、県内児童館の育成・連絡調整を行っています。

具体的には、理事会等の開催や、児童館や学童保育の職員のための児童厚生員二級資格取得のための研修を実施しています。また、県内を三つのブロックに分け、それぞれが主体となり行う研修と交流事業について側面的な支援を行っています。

児童厚生員二級資格取得のための研修では、大学時代に得た知識が役に立っています。内容は理論科目と実技科目があり、その科目に応じた講師の方を探すが、参加者の方々のニーズに合うよう、研修の際に毎回実施しているアンケートの結果を参考にしています。先日は、参加者の方から礼状をいただき、仕事場の自分の机に置いて、それを励みに頑張っています。

各ブロックの研修と交流事業については積極的に参加し、「顔の見える事務局」を目指しています。やはり直接出向くことで、電話では分からないその地域の現状や職員の方々の思いを知ることができます。そうすると自ずと「求められている事務局像」が見えてくるような気がします。このように現場で得る情報とともに、児童館の現状をより把握するため、平成十七年度には県内児童館を対象にアンケート調査を行いました。現在、その調査結果をもとに「児童館(児童センター)の現状と課題」と題して論文を執筆しています。

事務局では、以上のように児童館の育成を行うことと、児童館を地域の方に知ってもらうよう働きかける役割を担っています。平成十八年度は、「児童福祉週間」六十周年の節目にあたり、「全国児童館フェスタ2006」が全国数十箇所で開催され、「みえこどもの城」でも行いました。そのイベントの一つとして、各児童館が作製した自分達の活動を紹介するパネルの展示や、地域児童館によるワークショップを実施し、この機会を通して児童館が周知されたように感じます。今後も事務局がより良く機能するように努めます。

最後に、卒業生の皆様、お元気ですか。三重県にお越しの際は、ぜひ当館にお寄りください。ドームシアターでは大型映画やプラネタリウムを上映しています。直径二十二m、二二〇席の傾斜式ドームは東海地方で最大です。フレイランドにはクライミングウォールがあり、高さ七m、幅十四mのウォールは、青少年施設では全国最大級です。

そして、後輩の方々へ、悩んだ時は人生の先輩に相談してください。大学の先生方や職員の方々、先輩等は人生の先輩です。自分では答えが一つしか出ない時も、本当はもっと他にも答えがあることがあります。もらった助言を人生の糧として、歩いていってください。

# 仕事

仕事だけでなく休みの時も

自分の興味のあることを中心に色々な経験をし、

それを仕事や人との関わりに活かせたらと思っています。

**藤原 慶子さん(2期生)** 医療法人千水会 赤穂仁泉病院  
ソーシャルワーカー室  
精神保健福祉士



赤穂で就職して六度目の春を迎えました。私は、この地元赤穂にある赤穂仁泉病院という精神科病院で精神保健福祉士として勤務しています。精神保健福祉士は、精神障害者の抱える生活問題や社会問題のための援助や、社会参加に向けての支援活動を通して、その人らしい生活が送れるよう支援を行います。実際に何う相談内容は多岐に渡っており、経済問題に関することから家族や仕事の問題を中心に、生活のしづらさを聞いて一緒に解決していきます。そのためには、患者様だけでなく患者様を取り巻く人や環境にも働きかけを行います。

仕事に就いた当初は、自分自身が患者様とどう関わり、何に取り組んでいけばよいのか分からず、患者様から受ける相談に自分がない

んとかしなくてはという意識ばかり働いて空回りしてしまっていました。しかし、毎日色々な方と関わりを持つ中で、全て自分がするのではなく、患者様と一緒にいい患者様ができるように支援することが大切だと気づきました。当たり前のことを見失っていたことを振り返り、今は患者様の持つておられる力を活かしていただき、その中で自分らしく生活していけるように支援することを意識するようになっています。

また、この仕事は日々勉強だと思っています。仕事上関わる法律や諸制度、病気のことなどを知るという意味で知識上の勉強もそうですが、何より色々な方と関わる中で学ぶことの方が多いと思います。患者様やご家族とお話しているとこれまで生きてこられた人生経験や考え方、社会のこと等、さまざまなことを教えていただきます。それは何よりも私自身が人として成長する糧となっています。

大学時代はただなんとなく日々を過ごしていた私ですが、実習の時にバイザーから受けた「何でもいいので色々なことを経験して、私はこれだけは人に負けないということを見つけてください」というアドバイスの意味を実感します。今は仕事だけでなく休みの時も自分の興味のあることを中心に色々な経験をし、それを仕事や人との関わりに活かせたらと思っています。

現在、精神保健分野は転換期を迎えています。障害者自立支援法の施行により障害者の地域生活への移行が大きく取り上げられるようになり、病院としても現在入院されている患者様が地域社会で生活していけるように、そして地域で生活されている方の生活が継続できるように支援していくための取り組みが今以上に必要となってきました。そんな中で大きなことはまだまだできませんが、一人ひとりの患者様の声をよく聞き、必要とされていることを汲み取りながら一緒に取り組み、その輪が他の患者様にも広がって、大きな輪になるような関わりを持つていけたらと思います。

## 平成19年度 人事異動

平成18年5月1日～平成19年4月30日

|    | 日付        | 所属     | 職名     | 氏名      |
|----|-----------|--------|--------|---------|
| 採用 | H18.6.1付  | 事務局    | 地区担当参事 | 矢野 正 仁  |
|    | H18.7.14付 | 〃      | 地区担当参事 | 角 倉 克 彦 |
|    | H19.2.1付  | 〃      | 職 員    | 小 澤 寛 子 |
|    | H19.4.1付  |        | 副学長    | 高 橋 照 子 |
|    |           | 社会福祉学部 | 教 授    | 田 代 国次郎 |
|    |           |        | 教 授    | 藤 岡 純 一 |
|    |           |        | 講 師    | 井 上 寿 美 |
|    |           |        | 講 師    | 北 尾 岳 夫 |
|    |           | 看護学部   | 教 授    | 小 河 育 恵 |
|    |           |        | 教 授    | 渡 邊 美千代 |
|    |           |        | 准教授    | 川 崎 緑   |
|    |           |        | 准教授    | 中 村 恵 子 |
|    |           |        | 講 師    | 大 釜 徳 政 |
|    |           |        | 講 師    | 大 塚 眞 代 |
|    |           |        | 講 師    | 菅 野 夏 子 |
|    |           |        | 講 師    | 高 見 千 恵 |
|    |           | 事務局    | 助 手    | 磯 村 由 美 |
|    |           |        | 職 員    | 磯 家 麻友美 |
|    |           |        | 職 員    | 木 羅 和 子 |
| 退職 | H19.3.31付 | 社会福祉学部 | 教 授    | 木 戸 由 子 |
|    |           |        | 教 授    | 東 山 明 子 |
|    |           | 事務局    | 職 員    | 本 家 雅 子 |
|    |           |        | 校友会職員  | 山 本 奈 保 |

## 平成19年度 大学年間スケジュール

|       |                  |                         |
|-------|------------------|-------------------------|
| 平成19年 | 4月 5日(木)         | 入学式                     |
|       | 5月17日(木)         | 創立記念日                   |
|       | 6月17日(日)         | オープンキャンパス               |
|       | 7月22日(日)         | オープンキャンパス               |
|       | 8月25日(土)         | オープンキャンパス               |
|       | 8月26日(日)         | オープンキャンパス               |
|       | 9月15日(土)         | オープンキャンパス               |
|       | 10月27日(土)～28日(日) | 夕風祭・ホームカミングデー・オープンキャンパス |
|       | 12月14日(金)        | 赤穂義士祭                   |
| 平成20年 | 3月23日(日)         | 卒業式                     |

※各日程は予定です。変更となる可能性があります。

## 平成18年度 就職状況報告

### 7期連続、100%に近い就職決定率を達成!!

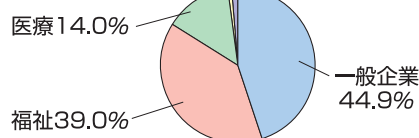
第7期生の就職希望者に対する就職決定率は98.7%の好結果となり、7期連続して100%に近い就職率を達成しました。卒業生の勤務先事業所からも多くの求人情報が寄せられ、社会で活躍する卒業生への高い評価が、後輩たちの就職活動にとって大きな力となっています。

### 平成18年度卒業生(第7期生)就職状況

【就職状況】 (平成19年3月31日現在)

| 区 分      | 男性   | 女性   | 合計   | %                        |
|----------|------|------|------|--------------------------|
| A.卒業生数   | 115名 | 154名 | 269名 |                          |
| B.就職希望者数 | 103名 | 136名 | 239名 | 88.8%                    |
| C.就職者数   | 102名 | 134名 | 236名 | 98.7%(C/B)<br>87.7%(C/A) |

【業種別就職状況】 教育0.8% 公務員1.3%



【卒業生 就職状況】 (毎期3月31日)

| 区 分  | 就職希望者数 | 就職者数 | 就職率   | 卒業生数 |
|------|--------|------|-------|------|
| 第1期生 | 232名   | 228名 | 98.3% | 276名 |
| 第2期生 | 194名   | 191名 | 98.5% | 232名 |
| 第3期生 | 234名   | 230名 | 98.3% | 275名 |
| 第4期生 | 202名   | 199名 | 98.5% | 231名 |
| 第5期生 | 211名   | 208名 | 98.6% | 241名 |
| 第6期生 | 245名   | 242名 | 98.8% | 272名 |
| 第7期生 | 239名   | 236名 | 98.7% | 269名 |

## 原稿募集

- 校友会員の各種集い、部・サークルのOB会、ゼミ同窓会などの様子をお知らせください。
- 会員の皆様それぞれの仕事の内容や仕事上の悩み・喜びなど、1000字程度の原稿をお寄せください。
- 校友インタビュー・校友ネットワークに登場していただける校友を募っています。自薦、他薦を問いません。事務局までご連絡ください。
- 記事の雰囲気伝える写真、筆者の近影などがあれば添付してください。写真は発行後返却します。
- 原稿及び写真の採否は事務局に一任ください。
- 原稿の加筆、修正、削除などをお願いする場合があります。
- 校友会会報の企画・編集に興味のある方は事務局までご連絡ください。
- その他、校友会へのご意見などもお寄せください。

(事務局)

### 校友会会報 第9号

発行 平成19年5月15日

発行所 関西福祉大学 校友会

発行者 荒木美智雄

編集 校友会事務局

〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3

TEL 0791-46-2525(大学代表)

TEL 0791-46-2847(校友会事務局)

FAX 0791-46-2615

E-mail koyukai@kusw.ac.jp

大学HP <http://www.kusw.ac.jp/>

校友会HP <http://www.kusw.ac.jp/koyukai/index/index.htm>